

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公開番号】特開 2019-84179 (P2019-84179A)

【公開日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報 2019-021

【出願番号】特願 2017-216164 (P2017-216164)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 12 日 (2019.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、
設定された設定値にもとづいて遊技者にとっての有利度が異なるように遊技を進行可能な遊技制御手段と、
電力供給の開始に伴い、前記設定手段による設定値の変更を許可する変更許可状態に制御可能な設定制御手段と、
電力供給の開始に伴い、前記設定手段により設定されている設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、
遊技の進行に応じて動作可能な可動部材と、
前記可動部材を原点位置に復帰させる復帰動作の制御を実行可能な可動制御手段と、
演出の音量の調整に関する動作を検出可能な調整用検出手段と、
前記調整用検出手段による動作の検出にもとづいて演出の音量を複数段階のいずれかに制御する音量制御手段と、
前記変更許可状態に制御されているときと前記設定確認状態に制御されているときとのそれぞれで、前記調整用検出手段による動作の検出にかかわらず前記音量制御手段による制御の実行を制限する制限手段と、を備え、
前記可動制御手段は、電力供給の開始に伴い前記変更許可状態に制御されたときと、電力供給の開始に伴い前記変更許可状態に制御されなかったときとで、共通の前記復帰動作の制御を実行可能であり、
前記変更許可状態の制御に関する報知と、前記設定確認状態の制御に関する報知とで共通の音量により報知音が出力される
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値に変更可能な遊技機や、可動部材を原点位置に復帰させることを行う遊技機が提案されている（例えば、特許文献 1、特許文献 2 参照）。さらに、リーチ演出の開始時に、リーチ演出の種類を報知するタイトル表示を行う遊技機が提案されている（例えば特許文献 3 参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2010 - 200902 号公報

【特許文献 2】特開 2016 - 221154 号公報

【特許文献 3】特開 2016 - 101428 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記遊技機では、多様な楽しみ方を提供するため、設定値を変更することが行われる。しかしながら、設定値を変更する作業を行う際に可動部材の動作が妨げとなることがあり、円滑に作業が進められないことがあった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定値の変更作業に支障が生じること防止できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

（A）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、

複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段（例えばステップ S a 1 3 の設定変更処理を実行する CPU 103 など）と、

設定された設定値にもとづいて遊技者にとっての有利度が異なるように遊技を進行可能な遊技制御手段（例えばステップ S 2 5 の特別図柄プロセス処理を実行する CPU 103 など）と、

電力供給の開始に伴い、前記設定手段による設定値の変更を許可する変更許可状態に制御可能な設定制御手段（例えばステップ S a 6、S a 1 2、S a 1 3 を実行する CPU 103 など）と、

電力供給の開始に伴い、前記設定手段により設定されている設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段（例えばステップ A K S 0 0 1、A K S 0 0 2 を実行する CPU 103 など）と、

遊技の進行に応じて動作可能な可動部材（例えば動作用モータ A K 0 1 1 ~ A K 0 1 3 によって動作する第 1 可動部材、動作用モータ A K 0 1 4 によって動作する第 2 可動部材など）と、

前記可動部材を原点位置に復帰させる復帰動作（例えばショートイニシャル動作など）の制御を実行可能な可動制御手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 など）と、

演出の音量の調整に関する動作を検出可能な調整用検出手段（例えば出力量切替スイッチ 7 1 A K 0 0 1 など）と、

前記調整用検出手段による動作の検出にもとづいて演出の音量を複数段階のいずれかに制御する音量制御手段（例えばステップ 7 1 A K S 0 1 3 の開始時出力切替処理やステップ 7 1 A K S 0 1 9 の進行中出力変更処理を実行する演出制御用 C P U 1 2 0 など）と、

前記変更許可状態に制御されているときと前記設定確認状態に制御されているときとのそれぞれで、前記調整用検出手段による動作の検出にかかわらず前記音量制御手段による制御の実行を制限する制限手段（例えば図 2 0 - 2 9 の処理の実行中には出力量切替スイッチ 7 1 A K 0 0 1 の操作受付無効など）と、を備え、

前記可動制御手段は、電力供給の開始に伴い前記変更許可状態に制御されたときと、電力供給の開始に伴い前記変更許可状態に制御されなかったときとで、共通の前記復帰動作の制御を実行可能であり（例えばステップ 7 2 A K S 0 1 2 の実行など）、

前記変更許可状態の制御に関する報知と、前記設定確認状態の制御に関する報知とで共通の音量により報知音が出力される（例えば設定変更中報知及び設定確認中報知が最大音量により出力されるなど）。

（ 1 ）さらに、本願の他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 ）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図 9 （ D ）、（ F ））。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。